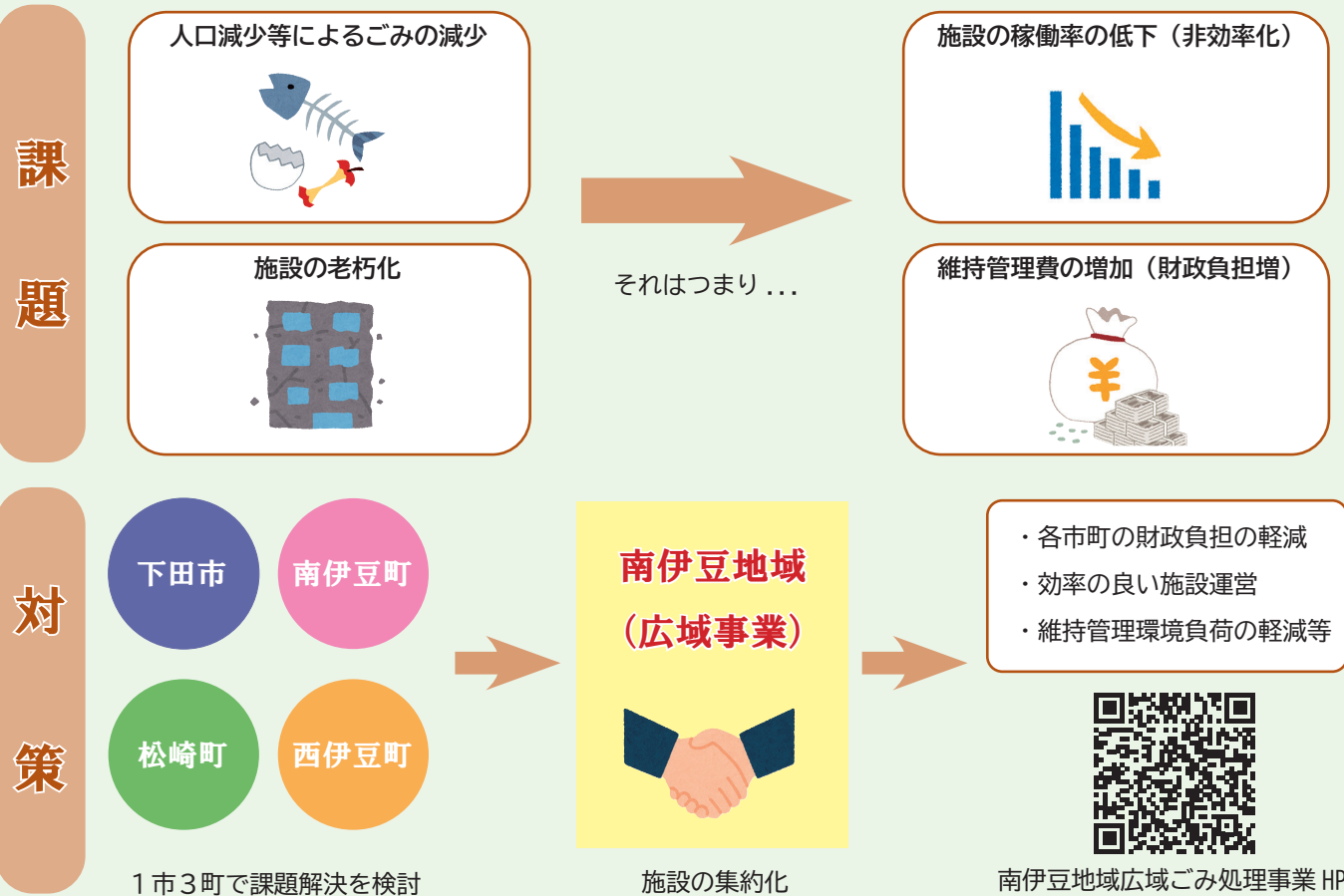


南伊豆地域広域ごみ処理施設整備事業

現在、1市3町で進めている南伊豆地域広域ごみ処理事業について、これまでの背景や経緯などをお知らせします。



広域ごみ処理施設の概要（広域ごみ処理施設整備基本計画）

焼却施設概要	資源化施設概要	運営費（20年間）
施設規模：54t/日（連続運転式） 処理方式：ストーカ式 事業費：約92億円	施設規模：4.1t/日 事業費：約37億円	DBO方式※：約120億円 ※設計・建設、運営を民間に一括発注する方法

施設整備の方向性

- ・循環型社会の形成を目指し、資源化施設を整備し、ごみの減量、リサイクルを推進します。
- ・施設を新しくすることにより、環境性能が向上し、クリーンなごみ処理を行います。
- ・施設の集約化により温室効果ガス排出量を削減します。

建設候補地

下田市敷根 13-11

※生活環境影響調査等の影響を
ふまえ建設場所を確定します。

施設の建設（竣工予定）

R11 焼却施設

R13 資源化施設



「南伊豆地域広域ごみ処理施設整備事業」「ごみの減量化について」のご意見・ご質問をお寄せください

問合せ先

「南伊豆地域広域ごみ処理施設整備事業」南伊豆地域清掃施設組合 ☎ 4 8 5 1 ・環境対策課 ☎ 2 2 1 3

「ごみの減量化について」環境対策課 ☎ 2 2 1 3

ごみの減量化について

市では、可燃ごみの減量とごみの発生抑制の意識啓発を図るため、生ごみ処理機器の普及を推進しています。

生ごみ処理機器購入費補助制度

生ごみ処理機器

生ごみ処理機器とは、生ごみを乾燥又は微生物による分解等によって、減量化及び堆肥化させることができる機器のことです。



生ごみ処理機器を使うことによるメリット

①減量化

生ごみを分解し、ごみ量の減量化やごみ袋の使用を少なくできます。



②堆肥化

堆肥化することでガーデニングや家庭菜園などに利用できます。



③衛生面

生ごみ処理機器に投入することで、台所の衛生面が向上します。



対象者

- ・市内に住所を有し、かつ、市内で機器を使用する方
- ・機器を常に良好な状態で維持管理できる方

対象機器

- ・機械式生ごみ処理機、生ごみを発酵、乾燥等の方法により分解、堆肥化又は減量化する機械（ディスポーザーを除く）
 - ・生ごみ堆肥化容器、コンポスト容器、その他生ごみを堆肥化することを目的とした容器
- ※中古の機器は対象外

補助金額

購入費の2分の1以内とし、2万円を限度とする。ただし、補助金の額に千円未満の端数が生じた場合は、それを切り捨てた額とする。

申請方法

次の書類を提出してください。
補助金交付申請書、補助金交付請求書、設置完了届、生ごみ処理機器購入の領収書の写し、保証書の写し

ごみ減量化のポイント

- 新聞、雑誌、段ボール、牛乳等紙パック、雑がみはリサイクル
紙ひもで十字にしばってリサイクル収集に出してください。
- ペットボトルなどはリサイクル。買い物の時はマイバッグ
ペットボトルはキャップをはずして、水洗いをしてください。
レジ袋などのプラスチックごみを減らすことで、海洋汚染の防止にもつながります。
- 生ごみ処理機器などの使用
一人1日約350グラム程の生ごみが出ます。
全て処理をすると年間約127キロの減量につながります。
- 草や剪定枝などは堆肥化
堆肥化することによってごみの資源化、減量化につながります。

